

令和2年5月15日

市民の皆さまへ

緊急事態宣言の条件付き解除に伴うご協力をお願い

今治市長 菅 良二

全ての都道府県が5月31日まで対象となっていた「緊急事態宣言」は、愛媛県におきましては条件付きで、14日解除されました。

しかし、県内では、新たなクラスターが発生し、厳重に警戒しなければならない状況です。

絶対に警戒を緩めるわけにはいきません。これまでの市民の皆さんの我慢、ご協力が水泡に帰さないためにも、引き続き脇を締めて、次の3つの感染拡大回避行動に改めてご協力をお願いします。

まず、①うつらないよう自己防衛、②うつさないよう周りに配慮、そして、③市外への移動についても引き続き自粛をお願いします。

「密閉」、「密集」、「密接」の「3つの密」を徹底的に回避してください。

次に、小中学校の状況をお知らせします。現在、分散登校中ですが、5月25日月曜日からの再開を目指しています。まだ、変則的な授業となっておりますが、全員、元気にそろって、充実した学校生活が送れるよう、現場の先生方もしっかりと取り組んでいますので、ご協力お願いいたします。

続いて、10万円の特別定額給付金についてですが、既にウグイス色の封筒がお手元に届いたかと思えます。

申請書へ記入し、本人確認書類や振込口座確認書類の写しを、添付し、返信してください。受付・審査後、振込いたします。市職員も迅速に給付できるよう懸命に対応しています。ご協力ご理解、よろしくお願いいたします。

また、給付金詐欺には十分注意してください。市役所からATMの利用を依頼することや、暗証番号をお聞きすることは絶対にありません。

不審に思ったときは、あなたが信頼できる人に相談するとともに警察へ通報してください。

それから、先日、市内唯一の酒蔵、八木酒造部で製造された高濃度エタノールを購入し、最前線でウイルスの脅威と向き合っている病院・診療所に、我が今治市の若手職員が感謝の言葉を添えて、お届けさせていただきました。この後、小・中学校をはじめ、各施設に順次配布いたします。

コロナ禍による地域経済への影響は計り知れないものがあります。特に、飲食業、宿泊業は深刻です。

今、私たち市民ができる応援はテイクアウト。市民の支援の広がりも相まって、小さな行動が大きくなるとなって、今治地域経済の起爆剤になるものと期待しています。「一波が万波を呼ぶ」。ぜひ、テイクアウトにご協力ください。

今後、国の支援制度も含め「いまばりエールプロジェクト」を始動し、事業者を支援する取り組みを進めてまいります。事業者の皆さん、この厳しい試練、立派に乗り越えてください。

繰り返しになりますが、県内でクラスターが発生している極めて厳しい状況です。

気を緩めず、次の3つの行動を、改めてお願いいたします。

「自分が感染しないための行動」

「ほかの方々に感染を広げない行動」

そして、「市外への外出の自粛」

特に、冠婚葬祭におけるご家族や知り合いの帰県・来県は、控えるよう厳しくお伝えください。

我が今治市の場合、現在まで感染者は出ていませんが、警戒を緩めれば一気に拡大してしまう強靱なウイルスです。

感染リスクをゼロにすることは不可能です。これからも、この手強いウイルスと向き合いながら、社会経済活動を行っていかねばなりません。

「新しい生活様式」も取り入れながら、感染症対策を講じていけば、必ずや終息に向かいます。

このようなときこそ、冷静な対応を心掛け、根拠のない情報に惑わされることのないように、そして差別や偏見のない、人を思いやる気持ちを忘れずに、市民一丸となって乗り越えていきましょう。

依然、厳しい状況が続きますが、夜明けに向かって、頑張ってください。